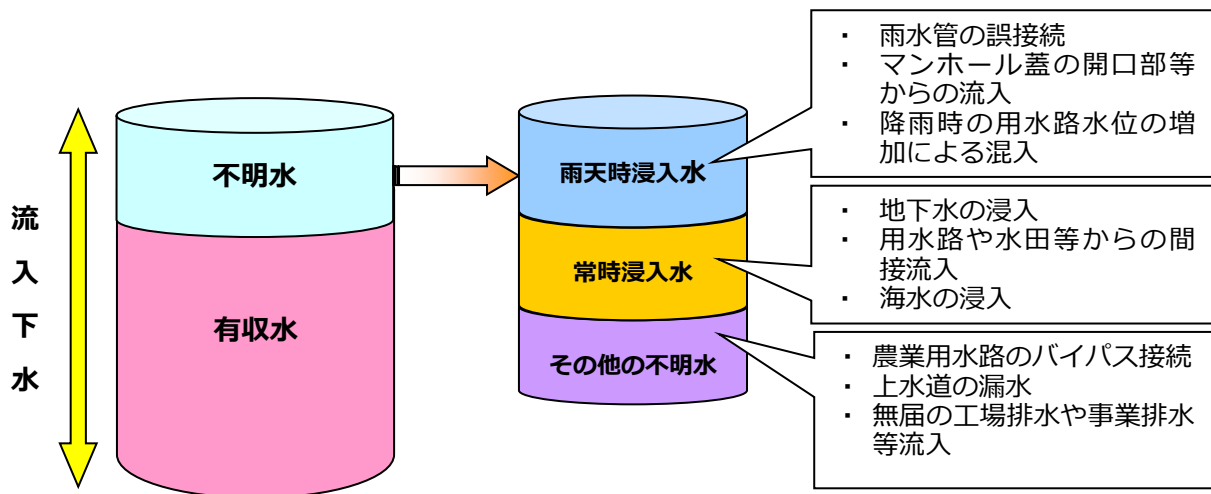


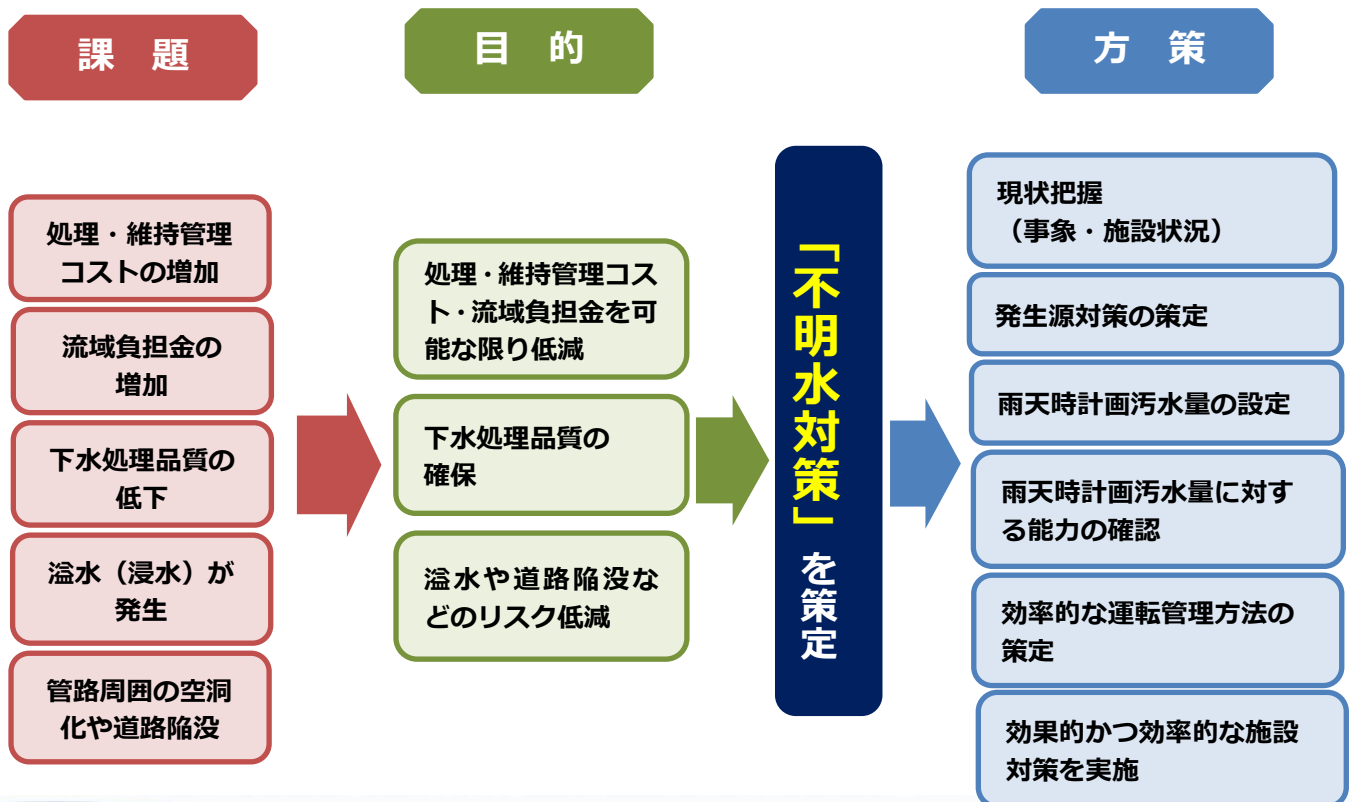
「不明水（雨天時及び常時浸入水）対策」のご提案

1. 「不明水」とは

不明水とは、分流式下水道において汚水系統に流入する下水のうち、雨天時浸入水、常時（地下水）浸入水、その他の不明水で構成されています。一義的には処理場流入下水から有収水量を差し引いたものとなります。



2. 「不明水対策」の目的と方策



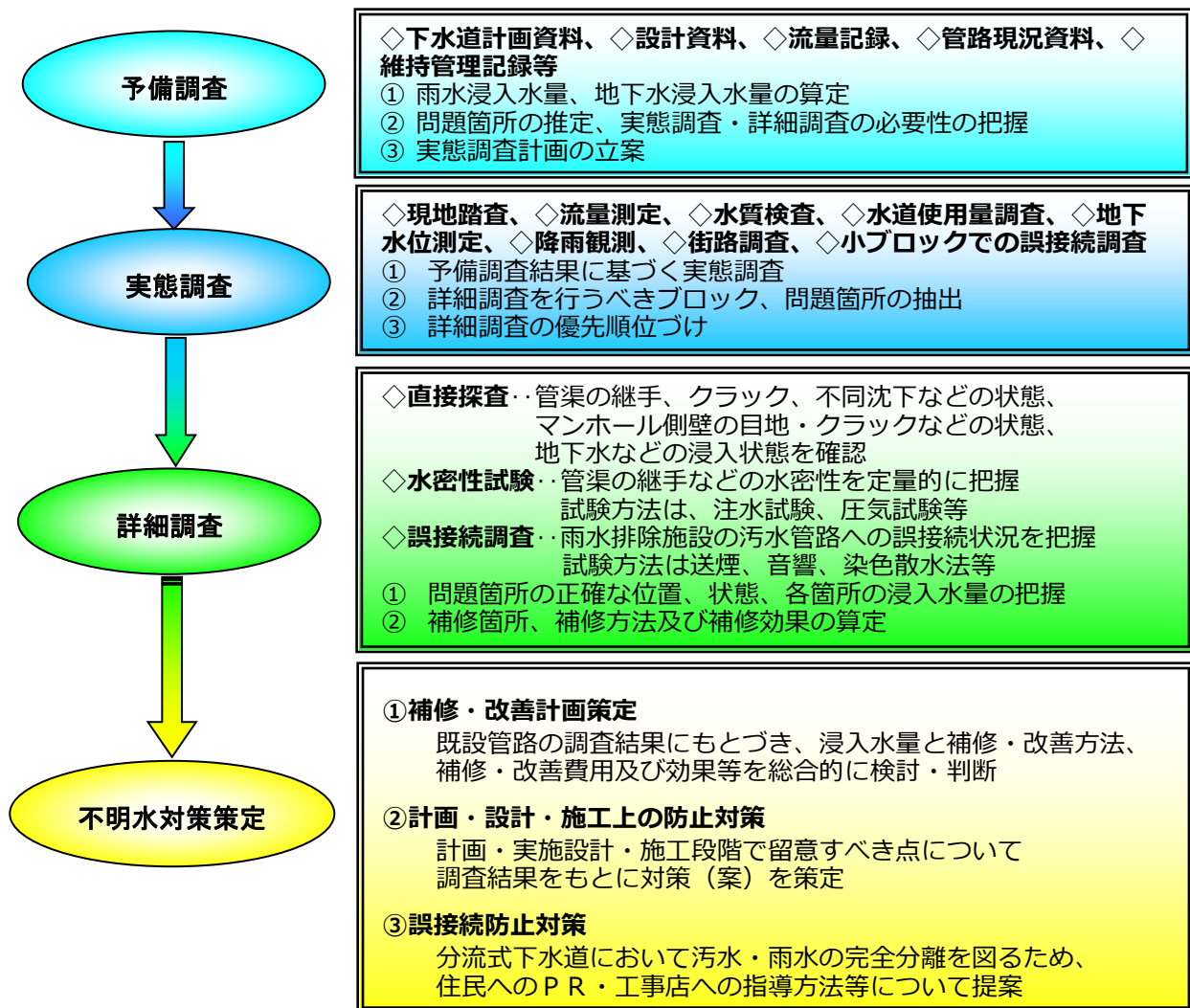


3. 東京設計事務所が提案する「不明水対策」策定方法と効果

計画・設計・施工段階から慎重に浸入水防止対策を実行し、管理段階においては施設実態を正確に把握して、過剰な浸入水が認められる場合には、迅速な防止対策を講じることが必要です。

当社では次のような流れに従って、不明水の低減による事業の効率化のお手伝いをさせていただいております。また、不明水流入箇所の推定、不明水量の予測と不明水流入対策の費用対効果（B/C）の検討には、調査の各段階で、流出解析モデルを用いた検討も視野に入れた提案を致します。

マンホール等からの溢水、公共用水域へ汚水流出、処理施設の維持管理費低減等への効果を発揮します。



主な業務実績

- ◆ 山口県下関市 下水道管路点検調査(筋ヶ浜処理区) (令和2年度)
- ◆ 山口県光市 虹ヶ丘地区管渠調査・診断業務委託 (平成30年度)
- ◆ 大阪府泉大津市 平成30年度不明水調査業務委託 (平成30年度)

お問い合わせ・資料のご請求

株式会社 東京設計事務所 東京支社

・プランニンググループ 神保士朗 TEL 03-3580-2757 shiro_jimbo@tokyoengicon.co.jp